

平成23年度 一般会計補正予算説明資料

8款 土木費
 4項 港湾費
 3目 境港管理組合費

空港港湾課 (内線7405)
 (単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
境港管理組合負担金	2,067,801	30,000	2,097,801				30,000	
トータルコスト	2,074,990	30,000	2,104,990	(補正に係る主な業務)				
従事する職員数	0.9人	0.0人	0.9人	事業計画の承認、負担金通知、境港管理組合との調整				
工程表の政策目標指標	クルーズ客船寄港回数の増加(平成25年度目標22回)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

境港管理組合等によるクルーズ船のポートセールスにより、来年春、大型クルーズ船が境港に寄港する見込みとなった。

については、大型クルーズ船の寄港までに、入港に必要な水深を確保し、船舶の安全な入港を可能にする必要があるため、境港管理組合が実施する浚渫工事の費用を負担するもの。

2 主な事業内容

(1) 境港昭和北・昭和南地区泊地浚渫工事 (負担金: 30,000千円)

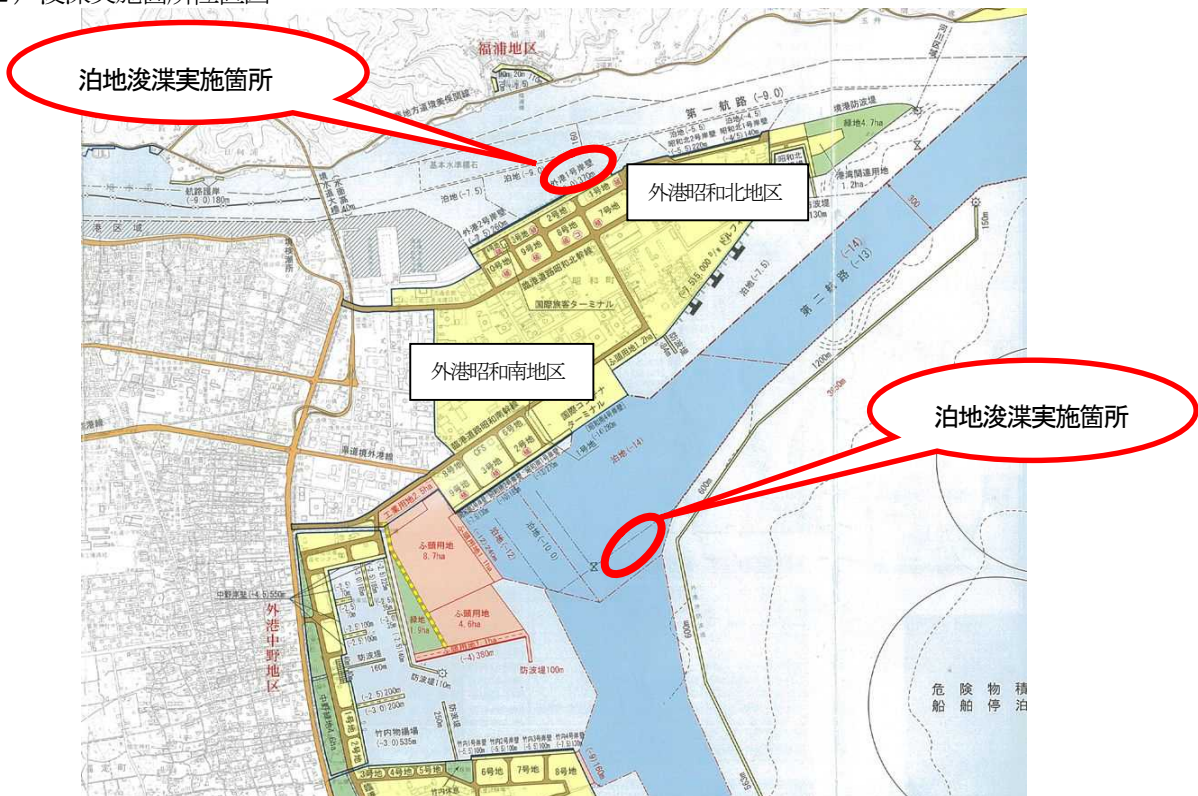
大型クルーズ船の入港に備えて、平成23年度末までに浚渫を行い、安全航行の確保を行う。

工事費: 30,000千円

工事期間: 平成23年12月下旬から平成24年2月上旬 (予定)

工事内容: 浚渫工 V=7,000m³

(2) 浚渫実施箇所位置図



3 これまでの取組状況・改善点

境港管理組合が関係機関と連携してクルーズ船誘致のため、船社等へポートセールスを行ってきた。

アジアでのクルーズ船運航が最近急激に増加しており、境港においては背後地の観光地としての魅力やC I Qの充実などをアピールしてきた。

境港が中国・韓国・ロシアなど対岸諸国とのゲートウェイを目指し、重点的な港湾施設整備等の支援が得られるよう「日本海側拠点港」の選定を目指して要望活動等を行ってきた結果、11月に「外航クルーズ」、「原木」、「国際海上コンテナ」の3機能で選定が決定したところ。